

* 短期に多収、秋まきの主要牧草

ライグラス類

● **イタリアンライグラス**

暖地秋まきの主要牧草で、生育が極めて早く、しかも再生力旺盛で、田、畑に裏作して翌早春より良質の青草が得られます。又混播草地に入れて初期生産を高めるのに適します。

● **イタリアンライグラス・ワセヒカリ（水田裏作用に最適）**

非常に生育早く、分けつも良い。出穂前に刈取れば再生も良く主に水田跡地に秋まきして晩秋又は早春の早期利用に適する。

● **イタリアンライグラス・トットリ系（水田裏作用に最適）**

早生系で草丈の高い直立型。分けつはやや少ないが、茎太い。初期生育早く、主に暖地の水田裏作で早期刈取利用に適する。

● **イタリアンライグラス・オオバヒカリ**

晩生系で葉茎大きく、草丈も高い。寒さに強く、又再生力も良い。耐病性もあり、2～3年利用もできる。
水田裏作のほか、永年草地へ混播用として刈取回数を多くし、周年利用に適する（今秋品切）

● **ペレニアルライグラス**

3～4年生、再生が早く、家畜のふみつけにも強い放牧専用の主要牧草。

● **マンモスペレニアル**

ペレニアルライグラスの巨大型多収種。放牧牧地に入れば生産量が極めて高くなる。

● **H・ワンライグラス**

2～3年生、耐病性で再生も良く採草、放牧両方に利用できる。水田裏作、短期輪作草地用。又は永年草地混播に適する。



イタリアンライグラスの栽培基準

(数量は10アール当り)

区分	地帯	播種期	播種量 キロ	播種法	施肥量					収か		摘要		
					基肥			追肥		時期	肥料と量		利用時期	生産ステージ別収量
					堆肥	石灰	化学肥料(成分量)	N	P ₂ O ₅					
水田裏作	東北地方 (岩手県の例)	9/上～ 9/下	3～4	立毛間播	— [*]	— [*]	4 [*]	6 [*]	8 [*]	早 春	N…12～16 [*]	5/上～ 5/下	2回刈 2.5 ¹ / 4	
	北陸地方 (新潟県の例)	8/下～ 10/上	2 (3)	散 播	2,000	—	3	5	10	融雪後 1ヶ月後 融雪後 1番刈後	N…5 N…10 N…5 N…10	4/下～ 6/上	1～2回刈 5～6 1回刈 4	()内は立毛 中播種の場合
	東海地方 (愛知県の例)	9/上～ 10/上	2～3	散 播	4,000	100	7～ 10	15	7～ 10	年内刈取後 (又は越冬前) 3/上 4/中～5/下	各々 N…7～10 K…7～10	11/下～ 12/上 4/中～5/下	→ 1.5～2.5 4～7 2回刈 2～3	11/下～12/上刈 取は早期栽培跡 地利用の場合
畑地	近畿地方 (兵庫県の例)	9/下～ 10/中	1.5～2	稲立毛中 散 播	—	—	—	—	—	4～5回 稲刈取後 3/上～中 刈取毎	N…20 P ₂ O ₅ …20 K ₂ O…5	11/下 4/上～ 6/下	3～4回刈 4～7	不耕起播、普通 水田あと
	北陸地方	8/下～ 9/下	2	散 播	2,000	—	3	5	10	融雪後 又は刈取後	N…5 K ₂ O…5	10/下～11/中 4/下～6/下	1～2回刈 3 3～4回刈 10	多雪地帯は降雪前に銅 粉剤 5K/10*
	関東地方	9/上～ 11/上	1～2	散播又は 45～60×条播	2,000	80	10	12	12	刈取後	N…4	11/上～12/下 4/上～6/中	6～8	水田裏作は早生 稲跡を利用
地	東海・近畿 地方 (愛知県の例)	9/上～ 11/中	散…2 条 1.5	散播又は 18×条播	3,000	150	10	15	15	刈取毎	N…20 K ₂ O…20	11/下～12/中 3/下～6	3～4回刈 6～10	
	九州地方 (宮崎県の例)	8/下～ 11/中	早まき 1.5 遅まき 3.0	散 播	1,200 ～1,500	100 ～120	10	10 ～20	10 ～20	11/中 2/中 刈取毎	各々 N…5	11/中～5/下	4～5回刈 5～6	